

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年12月20日

計画の名称	安全・安心な都市公園創出計画（重点計画）												
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	藤枝市												
計画の目標	公園施設の適切な維持管理と更新により、誰もが安全安心に利用でき、憩い安らげる空間を創出する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	150	A	150	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値 (R3末)	最終目標値 (R5末)
1	都市公園の遊具に係わる長寿命化対策率を46%増加させる。 都市公園の遊具に係わる長寿命化対策率（%） {（対策実施済み遊具数 + 計画期間内対策遊具数）÷ 長寿命化計画における対策対象遊具数} × 100	17%	45%	63%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	藤枝市	直接	藤枝市	-	-	長寿命化対策支援事業	公園施設の改築・更新	藤枝市						60		策定済
	A12-002	公園	一般	藤枝市	直接	藤枝市	-	-	長寿命化対策支援事業(5か年老朽)	健全度D判定等の緊要な対応が必要な公園施設の改築	藤枝市						90		策定済
											小計						150		
											合計						150		

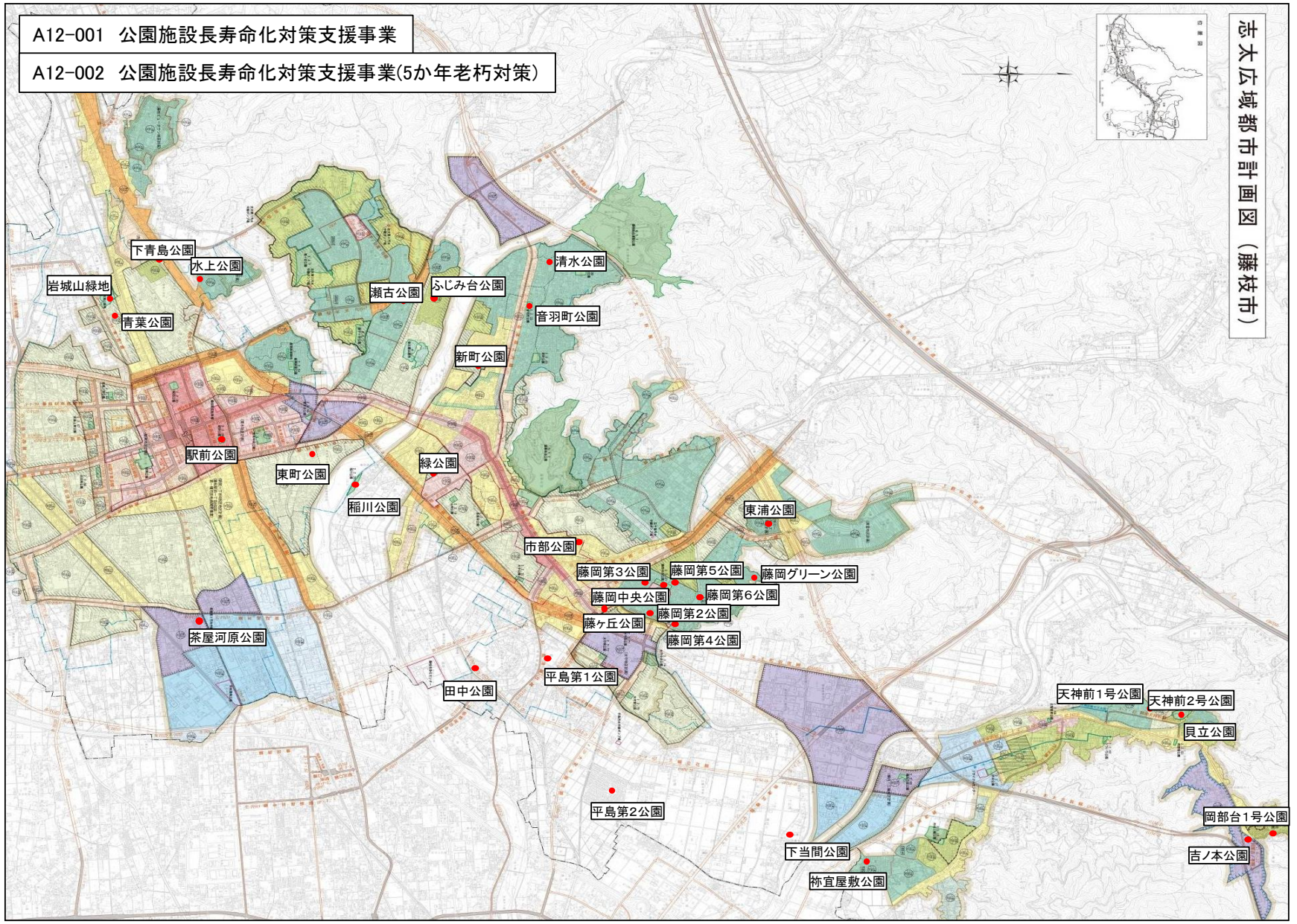
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02			
配分額 (a)	15	30			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	15	30			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	15	15			
翌年度繰越額 (f)	0	15			
うち未契約繰越額(g)	0	15			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	50			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		令和2年度第3次補正予算により措置されている「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の実施箇所が令和3年度へ繰り越されたため			

参考図面

計画の名称	安全・安心な都市公園創出計画（重点計画）		
計画の期間	平成31年度 ～ 平成35年度（5年間）	交付対象	藤枝市



A12-001 公園施設長寿命化対策支援事業
 A12-002 公園施設長寿命化対策支援事業(5か年老朽対策)

志大広域都市計画図（藤枝市）

事前評価チェックシート

計画の名称： 安全・安心な都市公園創出計画（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。(上位計画等と整合性が確保されている)。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境が整っている。	○